

## 1 研究主題

「学校ホームページによる情報発信の在り方」

## 2 主題設定の理由

ほとんどの学校で学校ホームページが作成され様々な情報発信が行われている。特に、コミュニティ・スクールにおける地域への情報発信のツールとしてはとても重要な要素となっている。しかし、このホームページの更新の頻度は決して満足いくものであるとはいえない。周南市内の小中学校のホームページにおいて、最低でも週1回以上更新を行っている学校はあまり多くないのが現状である。

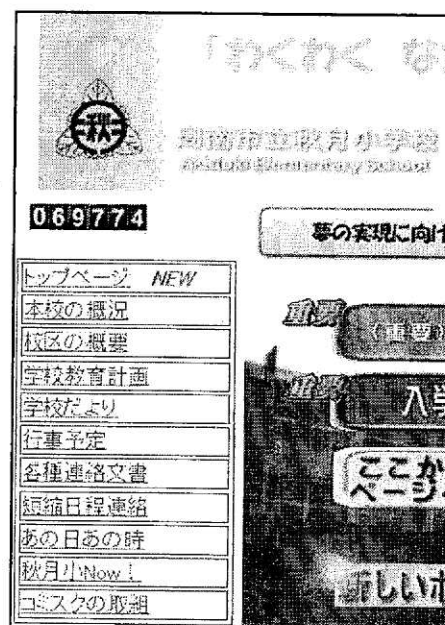
本研究では、学校ホームページが頻繁に更新されない理由を明らかにし、コミュニティ・スクールとしての情報発信の在り方を探り、全職員での学校ホームページ作成を実践することを目的とした。

## 3 研究の実際

### (1) 昨年度までの学校ホームページの現状

- ・ホームページの更新の頻度：週1回程度
- ・内容：学校、校区の概要 行事の様子 保護者への連絡 学校だより コミスクの取組など
- ・ホームページ作成ソフト：HPビルダー
- ・作成者：校長
- ・アクセス数：約2万件/年間

☆多くの情報が発信されておりアクセス数も1日平均約60件、約2割の家庭がホームページを見ている。しかし、学校行事の様子は頻繁にあげられているが、学級での子供たちの様子はあまり掲載されていない。



〈課題〉ホームページの作成者が校長一人であるため、情報の発信数が少ない。また、校長が作成できない場合、その負担は技術を持っている一部の職員に回る可能性がある。一部の職員がホームページ作成にあたることで、コミュニティ・スクールにおける情報発信への意識の向上を凶ることができない。しかし、職員の中にはパソコンの扱いが得意ではないものも多くいるので、ホームページの作成を全職員で行うことは困難である。

### (2) 課題解決のポイント

- ①全職員で学校ホームページの作成にあたり情報発信を行う。
- ②誰でも簡単に学校ホームページの作成ができるようなシステムを導入する。
- ③情報を広く発信することで、地域住民の学校に対する理解を深める。

### (3) 誰でも簡単にホームページが作成できるシステムの導入

〈導入システム〉JR 四国コミュニケーションウェア「ふれあい通信® Team Edition」

特徴○ワープロソフトを使う感覚で誰でも簡単にホームページ作成ができる。

○作成されたホームページは管理職へ送られ管理職のチェックを受けて初めて公開されるので安心。(承認機能)

○各カテゴリごとにパスワードを設定することができる。

△使用料がかかる。

### (4) 全職員の理解と研修

・学校ホームページによる情報発信の重要性の説明

(作成を行うことによるメリット)

・ホームページ作成手順の研修(1回)

### (5) 学校ホームページの完全リニューアル(令和2年5月1日)

○既存のホームページ上に新しいホームページへ飛ぶバナーを作成。

○保護者・地域住民へのお知らせ(学校だより、プリント等)

○アクセスカウンターの設置

☆休校中の学力保障のための学習室の設置



## 4 成果と課題

「全職員で学校ホームページを作りましょう。」職員会議で投げかけたときの職員の反応は決して芳しいものではなかった。きっと職員は不安でいっぱいであったと思う。しかし、アクセス数が増え、思ったほど作成は難しいものではないことに気づくとそのような声は上がらなくなってきた。地域の方から「学校の様子がとてもよくわかり学校が身近に感じる。」などの感想をいただくことも増えてきた。

また、学習室を設置し家庭での学習に役立つページを紹介した。特に GIGA スクール構想により一人一台のタブレットが配布されてからは学習室の活用が増え、アクセス数もそれまでの3倍以上になってきている。本校では、学習室から市で契約している学習サイトへのログインができるようにしている。

働き方改革が進められている中、職員の業務負担が増えるのではないかという意見もある。しかし、その見返りはとても大きい。だからこそ誰もが簡単にホームページを作成できるシステムの導入が不可欠だと考える。

2月25日現在、リニューアル後のアクセス数は2万5千件を超えた。